

プロジェクト:

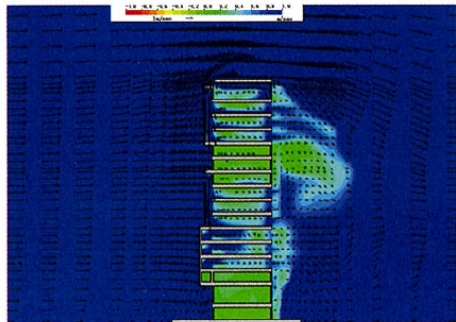
サイゴン解放新聞社本社ビル

設計 小嶋一浩・宇野享・赤松佳珠子 / CA・CAN+VO Trong Nghia

所在地 ベトナム、ホーチミン

SAIGON LIBERATION NEWSPAPER

architect: KAZUHIRO KOJIMA・SUSUMU UNO・KAZUKO AKAMATSU/CA・CAN+VO TRONG NGHIA



高層ビルの空調を自然通風で行うために、風のCFD解析を行っている。

設計 建築 小嶋一浩・宇野享・赤松佳珠子 /
CA・CAN+VO Trong Nghia
構造 オーク構造設計 新谷真人
設備 科学応用冷暖研究所 高間三郎
照明計画 LPA 面出薫
CFD解析 環境シミュレーション 阪田升
敷地面積 2,230m²
建築面積 1,172m²
延床面積 20,000m²
階数 地下2階 地上16階
構造 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造
竣工予定 2010年

ベトナムのホーチミン市に位置する「サイゴン解放新聞社本社ビル」で鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、地下2階、地上16階の計画である。地下1、2階が駐車場、1階から6階までが講演会用のホールを含むサイゴン解放新聞社のオフィス、7階から15階までがメディア関連企業の賃貸オフィスで、最上階が記者クラブとカフェで構成された21世紀のベトナムを象徴する情報受発信の拠点である。

アジアの気候と文化から生み出された建築全体を覆う複数の皮膜が、この建築の特徴である。空調システムに頼るアクティブモードから、通風を最大限に生かしたパッシブモードまで、移り変わる自然の様相に呼応して、室内環境のモードを選択できる。具体的には、自然光を柔らかな間接光に変換して室内に明るさ感をもたらす「光壁」や、CFD解析から導き出した風を導く「エアタワー」など、さまざまな「光と風のデバイス」を用いた親自然的な「呼吸する建築」の提案である。（宇野享 / CAN）



ファサードのイメージ図。米粒をモチーフとしたスクリーンで日射などを制御する。